

概要

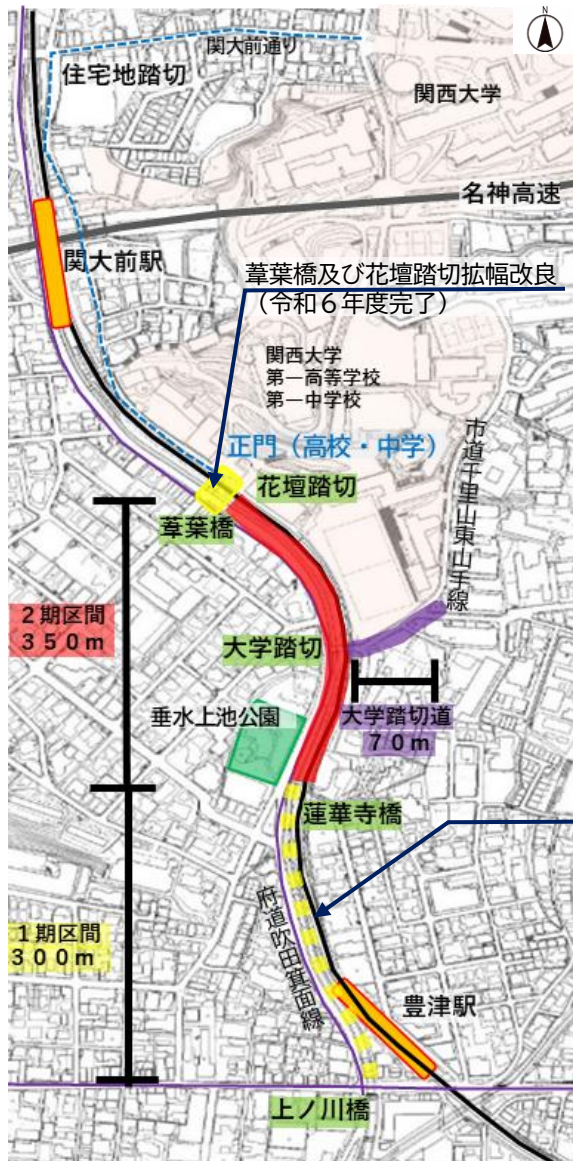
阪急千里線と並走する上の川の周辺地域においては、かねてから府道の歩行空間不足や狭小な踏切などが課題となっていました。府道は住宅と河川に挟まれており、拡幅の余地が無いことから、解消を図ることは非常に困難でした。このような状況の中、令和2年から本市と大阪府が連携して、上の川の暗渠化による上部空間を活用したまちづくり事業に着手しました。

主な事業内容としましては、上ノ川橋から蓮華寺橋までの約300mを1期区間、蓮華寺橋から葦葉橋までの約350mを2期区間として、河川暗渠化と併せて府道及び本市遊歩道を整備するものです。1期区間については、令和8年3月28日の供用開始を予定しており、令和8年度からは、2期区間の設計業務委託や関連道路の拡幅工事などに取り組みます。

上の川周辺整備事業 令和2年度（2019年度）～令和7年度（2025年度）

■ 1期区間（上ノ川橋から蓮華寺橋までの約300m区間）

事業位置図



●河川上部空間の活用

整備前状況（歩行空間不足）



河川の暗渠化工事状況



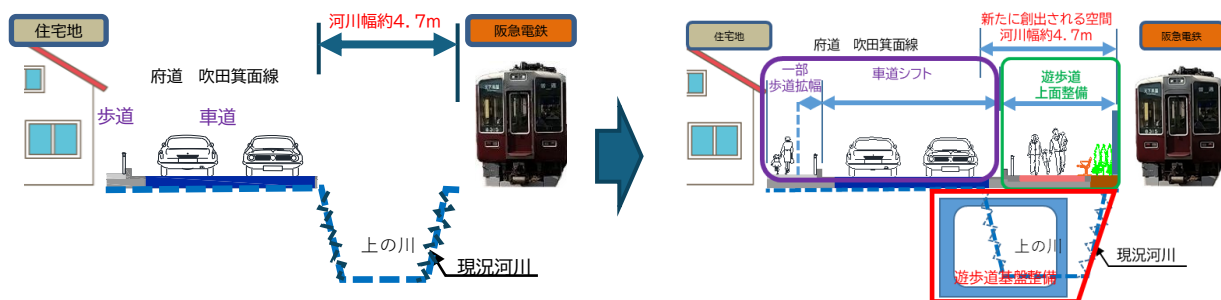
令和8年（2026年）3月28日供用開始



上の川周辺整備事業 令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）

■ 2期区間（蓮華寺橋から花壇踏切までの約350m区間）

河川上部空間の活用イメージ図（2期区間）

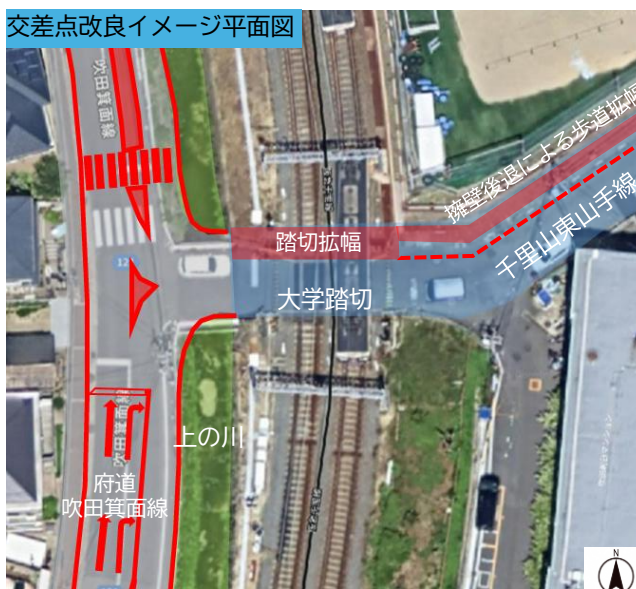


● 大学踏切交差点改良

現状：歩行者と車両が輻轍し危険



交差点改良イメージ平面図



● 大学踏切道（市道千里山東山手線）歩道拡幅

拡幅前



歩行空間
約1m⇒約2.3m

拡幅イメージ



■ 令和8年度当初予算額

■ 歳出 180,897千円（事業計画の合計 約41.9億円）

- ・ 河川暗渠化工事に伴い、阪急電鉄への影響や暗渠化に伴う河川への影響を解析する業務を委託するほか、地中埋設管などの支障物を移設。
- ・ 関西大学第一高等学校敷地の擁壁後退により創出される空間を利用し、市道千里山東山手線の歩道を拡幅。

■ スケジュール

	R8	R9	R10	R11	R12
基盤整備（河川暗渠化）	設計	基盤整備工事			
上面整備（舗装工事）他	歩道拡幅工事		設計	上面整備工事	踏切拡幅工事